

常陸大宮駅西交流拠点化構想

概要版

令和 2 年 3 月

常陸大宮市建設部都市計画課

< 目 次 >

1. 本構想の目的	P 1
2. 駅西交流拠点のゾーニング	P 2
3. 交流拠点案	
A案 「文化財展示施設+子育て支援・交流センター」	
	P 3～P 5
B案 「生涯学習（女性活躍）施設+子育て支援・交流センター」	
	P 7～P 9
C案 「民間施設+子育て支援・交流センター」	
	P 11～P 13
D案 ゾーニングの具体化「公園施設（カフェ・トイレ棟+防災広場）」	
	P 15～P 17
4. 今後のスケジュール案	P 19

1. 本構想の目的

本構想は、「常陸大宮駅周辺整備基本計画」及び「常陸大宮駅周辺整備計画」における常陸大宮駅西ゾーンの整備方針に基づき、新駅舎や駅西口と連携した、地域コミュニティを向上させる新たな交流拠点に関する構想の提案及び立案を行うことを目的とします。

市民サービス機能や防災機能、地域の情報発信機能を備えた交流拠点について、市民生活の利便性の向上及び地域の交流を促す憩いの場として設置する機能・用途・規模等の検討を行います。

■常陸大宮駅周辺整備基本計画におけるイメージ図



2. 駅西交流拠点のゾーニング

(1) 配置ゾーニングの検討

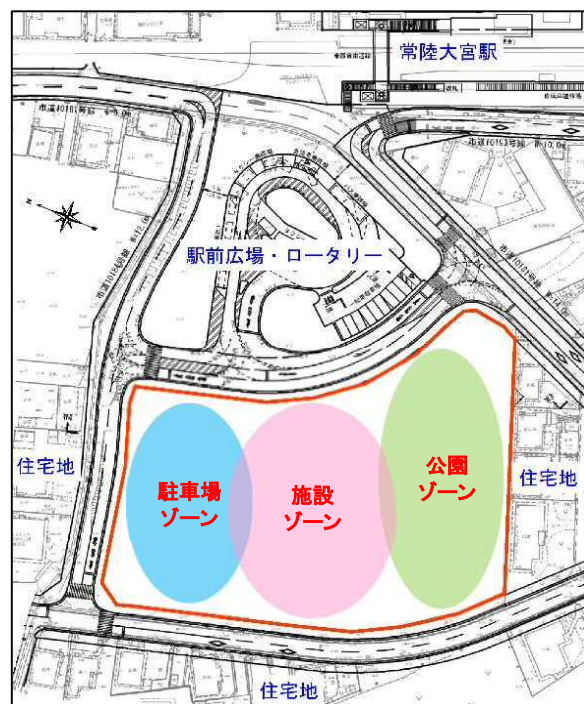
当該計画敷地について、施設ゾーン(約 3,000 m²)、公園ゾーン(約 2,250 m²)、駐車場ゾーン(約 2,250 m²)の3つのゾーンをエリア分けし、配置の組み合わせ、駅からのアクセス、各ゾーンのつながり、周辺環境との関係などについて検証し、以下のゾーニング案を作成しました。

(2) 配置ゾーニング案

施設ゾーンを敷地中央に配置し、南側に公園ゾーン、北側に駐車場ゾーンを確保します。

施設が中央に位置することにより、周辺住宅地への影響を少なくし、公園及び駐車場の両方からのアプローチが可能となります。

南側に公園が位置することにより、日当たりを確保しながら、施設との一体的な利用が図れます。また、隣接する住宅地との緩衝帯となり、一部所有者不明地の取り扱いや既存井戸の活用においても柔軟に対応できます。



3. 交流拠点案

A案「文化財展示施設＋子育て支援・交流センター」

■計画の趣旨

常陸大宮市では、市が保有する貴重な文化財を適切に保管・公開する施設の整備を検討しており、平成31年に「文化財展示施設整備構想(素案)」を取りまとめました。また、泉坂下遺跡の出土品が国重要文化財に指定され、文化財展示施設の役割と体制について、適切な整備が求められています。

常陸大宮駅西側は、文化センターや図書館、歴史民俗資料館などがある市の文化教育エリアに隣接しており、駅周辺整備の拠点施設として、様々な世代・地域の市民が集い、学び、活動する場となり、将来にわたって活力ある地域社会を維持していく上でも重要な役割を担うことが期待されます。

本構想においては、文化財展示施設に加え、子育て支援や地域交流施設との複合化を図ることにより、より多様な活動を促し、市民の幅広いニーズに対応する施設の整備を検討します。

■具体的な方策

- ・泉坂下遺跡の出土品などをはじめとした文化財の展示保管，調査研究を目的とした文化財展示施設と子育て支援や多世代交流機能を有する交流センターを併設した複合施設とする。
- ・1階に共有スペースと文化財展示施設，2階に子育て支援・多世代交流施設を設ける案とする。
- ・駅に隣接する立地を活かし，ロータリーに沿って「キャノピー」や「交流広場」を設けるなど，人を呼び込み，集まりやすい「仕掛け」を整備する。
- ・公園と連携した一体的な活動を考慮した計画とし，通りに面して飲食や物販コーナーを設けるなど，外部空間との連続性に配慮しながら，気軽に立ち寄ることができる施設とする。
- ・建物の仕上げ材などには，地場産の木材や伝統工芸品の和紙などを活用し，地域に根差しながら，温かみのある空間づくりを行う。

構造規模 : 鉄筋コンクリート造一部木造(屋根) 2階建て

延床面積 : 約2,900㎡(1階1,600㎡, 2階1,300㎡)

概算工事費 : 約2,030,000千円

想定工期 : 約18カ月

■導入施設のイメージ

• エントランスホール

駅前広場に面した施設の「顔」として、2層吹抜の開放的な空間とし、シンボル展示に対応しながら、地場産木材を使用した特徴的な空間とします。



エントランスのイメージ

• 展示室

ジオラマや実物展示の場として、建物と展示物が一体となった効果的な演出を行います。

常設や企画など展示テーマに柔軟に対応する計画とします。



展示室のイメージ

• 講座室、学習室

様々な学習活動や講演会などに対応する講座室や文化活動に活用できる学習室を設け、歴史文化に対する理解を深めると共に、市民活動や生涯学習に対応した計画とします。



講座室のイメージ

• 多目的スペース

子育て支援や多世代交流の場として、リハビリ体験やフィットネスなど多目的に活用できる大空間を設けます。更衣室やシャワーを備えた利便性の高い施設を計画します。



多目的スペースのイメージ

■今後の検討事項

- 登録博物館とする場合、関係省庁との調整や各種基準に沿った施設整備が必要となり、複合施設化については十分な検討が必要となります。
- 常設展示を主目的とした施設の場合、都市再生整備計画事業の交付対象外となり、明確に分離する必要があります。
- 文化財展示施設と子育て支援多世代交流施設を分棟形式とした場合、駐車場や公園の確保について、調整・検討が必要となります。

B案「生涯学習（女性活躍）施設＋子育て支援・交流センター」

■計画の趣旨

近年、あらゆる分野において女性の活躍が進んでおり、働く場の確保や良好な就労環境など、女性にとって魅力的な地域づくりを通じて、将来にわたり女性が活躍できる持続可能な地域社会の構築が重要とされており、地域における女性活躍の推進は、企業活動、行政、地域等の現場に多様な価値観や創意工夫をもたらし、地方創生実現の鍵とされています。

今後、常陸大宮市においても、女性にとって魅力的な地域づくりに向けた取組をより一層推進していく予定であり、子育て支援や多世代交流とあわせて、多角的に整備していくことが求められています。

本構想では、女性活躍の推進に向けて、様々な活動を支援するとともに、「常陸大宮市男女共同参画計画」における「一人ひとりの個性と能力がキラリと光るまちづくり」の基本理念に沿って、性別を問わず、誰もが気軽に利用できる多様な活動・交流の場の整備を検討します。

■具体的な方策

- ・女性が安心して子育てや仕事に従事できる環境をサポートする、子育て世代と働く女性のための活動拠点・生涯学習施設と子育て支援や多世代交流機能を有する交流センターを併設した複合施設とする。
- ・木造平屋建ての親しみやすい空間とし、子どもや女性に優しい「いえ」のような温かみのある環境を整備する。
- ・駅の利用者をはじめ、だれもが気軽に利用できる施設とする。
- ・公園には芝生広場や遊具広場を設け、多世代にわたり利用できる計画とし、外部空間との「連続性」に配慮した施設計画とする。
- ・建物の構造材や仕上げ材には、地場産の木材を多用し、木のぬくもりを感じられる地域に親しまれる施設とする。

構造規模	： 木造 平屋建て	延床面積	： 約 1,800 m ²
概算工事費	： 約 1,008,000 千円	想定工期	： 約 12 カ月

■導入施設のイメージ

・子育て支援室

公園に面した明るく開放的な環境を確保し、様々な活動に柔軟に対応できるフレキシブルな空間とします。また、屋外との一体的な活動にも対応します。



子育て支援室のイメージ

・キッズスペース

施設内の要所に絵本やおもちゃコーナーなどの子ども達の居場所を設け、子育て中の女性や保護者が安心して活動に取り組める環境を整備します。



キッズスペースのイメージ

・学習室

楽器演奏や映像音楽の視聴に対応した防音室など、様々な市民活動や生涯学習に対応した学習室を設けます。



学習室のイメージ

・調理室

料理教室などの各種講座に対応するとともに、災害時には一時避難場所として炊き出しにも対応できる計画とします。



調理室のイメージ

■今後の検討事項

- ・管理運営も含め、各種講座の設定や受入体制など、ソフト面の充実を検討・調整を図るとともに、持続的な施設の利活用が図れるようソフト面・ハード面の連携を高めた詳細な検討が必要となります。
- ・地場産木材の使用については、材料の確保や流通状況を見定めた計画的な発注を検討するとともに、「いばらき木づかい環境整備事業」助成金の活用を検討します。

生涯学習(女性活躍)子育て支援・交流センター

構造規模：木造 平屋建て
 延床面積：約1,800㎡
 計画段階

- ・女性が安心して子育てができ、出産後も安心して仕事ができる環境をサポートする。子育て世代と働く女性のための活動拠点施設及び多世代交流施設を併設する。
- ・木造平屋建ての親しみやすい空間とし、「いえ」のようなあたたかみのある環境を整備する。
- ・駅の利用者を始め、だれもが気軽に利用できる環境とする。
- ・外郵便空間との「連続性」に配慮しながら、気軽に立ち寄ることができる施設とする。
- ・建物には仕上材に地場産の木材や和紙などを活用した空間づくりを図る。

外観イメージ



B案
 「生涯学習(女性活躍)子育て支援・交流センター」

C案「民間施設＋子育て支援・交流センター」

■計画の趣旨

これからのまちづくりにおいては、人口の急激な減少と高齢化を背景として、高齢者や子育て世代にとって、安心できる健康で快適な生活環境を実現すること、財政面及び経済面において持続可能な都市経営を可能とすることが、大きな課題となっています。こうした中、医療・福祉施設、商業施設、住居等がまとまって立地し、高齢者をはじめとする住民が、公共交通によりこれらの生活利便施設等にアクセスできるなど、福祉や交通なども含めて都市全体の構造を見直し、『コンパクトシティ・プラス・ネットワーク』の考えで進めていくことが求められています。

また、近年では、民間活力を導入し、行政が連携を図ることにより、従来とは異なる新しい発想でまちづくりを進める取組が実施されており、施設整備や公共公益施設の活用・管理運営などの「ハード事業」だけでなく、イベント企画・運営や情報発信などの「ソフト事業」も実施されており、幅広い分野での地域活動が期待されています。

本構想においても、駅前という立地を活かし、金融機関や子育て支援の都市機能を導入することにより、市民サービスの向上と継続的な発展、地域の活性化に寄与する施設整備を検討します。

■具体的な方策

- ・民間施設として金融機関などの都市機能を導入し、子育て支援・多世代交流施設と複合化することにより、利便性の向上及び利用者数の確保を図る。
- ・子育て支援・多世代交流施設部分は木造とし、「いえ」のような親しみやすい空間とする。
- ・民間施設部分は鉄筋コンクリート造とし、防犯・防災機能を高めながら、木と調和したデザインとする。
- ・公園には交流広場を設け、市民が集う憩いの場とし、施設と一体的に活用できる計画とする。
- ・建物の構造材や仕上げ材には、地場産の木材を多用し、木のぬくもりを感じることができる、地域に親しまれる施設とする。

構造規模 : 木造一部鉄筋コンクリート造（民間施設部分） 平屋建て

延床面積 : 約 1,900 m²（民間施設 500 m², 交流施設 1,400 m²）

概算工事費 : 約 1,064,000 千円 想定工期 : 約 12 カ月

■導入施設のイメージ

・民間施設（金融機関）

駅前の立地を活かし、中心市街地への都市機能の誘導施設として、金融機関などの民間施設を導入します。

内装には地場産の木材を活かした常陸大宮らしさを演出します。



民間施設(金融機関)のイメージ

・カフェスペース

広場に面してカフェスペースを設け、気軽に立ち寄れる憩いの場として計画し、屋外テラスやキッズスペースを付帯させます。

民間施設の導入も検討し、魅力ある交流拠点の整備を検討します。



カフェスペースのイメージ

・遊具広場

施設と一体的に利用可能な広場を設け、子ども達が安全に遊べる環境を整備します。

金融機関やカフェなどを併設した子育て支援や多世代交流の場として、相乗効果を最大限に活かした計画とします。



遊具広場のイメージ

■今後の検討事項

- ・民間施設の導入については、管理運営や収益面も含め、各企業や団体等との十分な調整が必要となります。
- ・金融機関の導入に際しては、防犯上の配慮が不可欠となるため、細心の注意を要します。

民間施設十子育て支援・交流センター案

構造規模：不造一部鉄筋コンクリート造(民間施設部分) 平屋建て
 延床面積：約1,900㎡(店舗：約500㎡、子育て支援・交流施設：約1,400㎡)
 計画趣旨
 ・駅前立地を活かし、民間施設として定数機関等の都市機能を導入し、子育て支援・多世代交流機能と複合化することにより、利便性の向上及び利用者数の確保を図る。
 ・不造平屋建ての親しみやすい空間とし、「いすい」のようなあたたかみのある環境を準備する。
 ・民間金融機関部分はRC造とし、防犯防災機能を高めながら、人と調和したデザインとする。
 ・外部空間との「連続性」に配慮しながら、気軽に立ち寄ることができる施設とする。
 ・建物には仕上げ材に地場産の木材や和紙などを活用した空間づくりを図る。



C案
 「民間施設十子育て支援・交流センター」

D案ゾーニングの具体化「公園施設（カフェ・トイレ棟＋防災広場）」

■計画の趣旨

常陸大宮市では「第2期常陸大宮市子ども・子育て支援事業計画」において、良好な居住環境を確保するために公園や遊び場の維持・保全を図るほか、全ての子ども達が安心して遊べる公園などの施設整備を検討しています。

また、「常陸大宮駅周辺整備計画」では、公園・広場の整備について、地域交流や休憩機能だけでなく、災害時に一時的な避難場所として使用できるように防災機能を備えた整備を検討しており、あわせて消防水利の整備を行い、地域の防災性の向上に努める計画としています。

本構想においても、子育てを支援する生活環境の整備に加え、ヘルスロード計画などとの連携を考慮しながら、防災拠点として利用可能な公園・広場の整備を検討します。

■具体的な方策

- 各種イベントなど多目的に活用できる芝生広場や集客施設としてカフェを整備し、市民の憩いの場や交流の場として活用します。
- 公園には子ども達が安心して遊ぶことができる遊具広場やふわふわドーム（エアトラampoline）などを整備します。
- 遊具エリアには屋根を設け、雨の日や夏場の日差しの強い時期でも遊べる全天候型の施設とします。
- 災害時の一時避難場所として、かまどベンチやマンホールトイレなどの設置を考慮します。
- 緊急時にドクターヘリ離発着場として利用できる広さを確保します。

構造規模 : 木造平屋建て（カフェ・トイレ棟）

公園面積 : 6,500 m² 駐車場面積 : 1,000 m² 延床面積 : 約 100 m²

延床面積 : 約 100 m²

概算工事費 : 約 425,000 千円

想定工期 : 約 10 カ月

■導入施設のイメージ

• 芝生広場

敷地中央には芝生広場を整備します。

中心市街地にある広大な広場は市民の憩いや集いの場として、様々な活動に対応します。



芝生広場のイメージ

• 休憩施設（カフェ・トイレ）

地場産の木材を利用し、木の風合いを活かした建物とします。民間活力の導入を検討し、ハード・ソフト面共に魅力ある施設運営を図ります。



カフェのイメージ

• 遊具広場

ふわふわドームなど特徴ある遊具を設置し、テント屋根を設けるなど、全天候型の施設とします。ヘルスロード計画とも連携した健康増進施設としての整備も検討します。



遊具広場のイメージ

■今後の検討事項

- 駐車場の規模や管理運営方式について、周辺施設や駅の利用状況を考慮し、詳細を検討する必要があります。
- 設置する遊具や公園の機能については、市民のニーズに対応した適正な仕様とするとともに、維持管理を含めた長期的な視点で計画をします。
- 植栽計画について、四季の移ろいや生き物の多様性に配慮しながら、維持管理のしやすい計画とします。
- カフェについては、民間施設の導入なども含め、施設整備や管理運営の方法について、検討を進めることとなります。
- ドクターヘリの離発着場については、近隣住民及び各関係機関との綿密な調整が必要となります。

公園施設（カフェ・トイレ棟＋防災広場）案

構造規模：木造 平屋建て（カフェ・トイレ棟）

延床面積：約100㎡、地場の木材を活用

計画趣旨

- ・イベントなど多目的に活用できる多目的な防災広場を整備し、市民の親いや交流の場として活用する。
- ・雨の日でも子ども連や親子連れが安心して遊べる遊具エリアを整備する。
- ・憩いと語らいのスペースとして、集客施設のカフェを整備する。
- ・災害時の一時避難場所として、かまどベンチやマンホールトイレの設置を考慮する。
- ・防災訓練を兼ね、かまどベンチを利用したバーベキューなどイベントでも活用する。
- ・将来的な都市機能拡充を最優先し、柔軟に対応できる土地利用の形態とする。

公園カフェのイメージ



トイレのイメージ



芝生広場のイメージ



〈木を使った遊具〉



〈じゃふじゃる池〉



〈かまどベンチ〉



〈マンホールトイレ〉



D案
「公園施設（カフェ・トイレ棟＋防災広場）」

4. 今後のスケジュール案

令和2年度から3年度までの2年間にかけて、本構想の複数案を基に、駅西交流拠点にふさわしい機能・用途を具体化していくため、駅西交流拠点基本計画を策定します。

基本計画の策定にあたっては、市民・学識経験者の専門家などから構成される検討委員会を組織するとともに、パブリックコメント手続を経て、幅広い市民の意見を取り入れながら、駅を中心とした子育て支援や多世代の市民交流の場となるような交流拠点を目指し、協議・検討を進めてまいります。



常陸大宮市



常陸大宮市